



本 社

〒530-0015 大阪府大阪市北区中崎西2丁目4番12号 梅田センタービル11階

TEL:06-6375-5885 FAX:06-6375-5890

東日本支社

〒136-0071 東京都江東区亀戸2-27-7 FORECAST亀戸3階

TEL:03-3638-0380 FAX:03-3638-0381

中日本支社

〒450-6215 愛知県名古屋市中村区名駅4-7-1 ミッドランドスクエア15階

TEL:052-265-5566 FAX:052-265-5578

<https://www.sss-consultants.co.jp/>



SSS CONSULTANTS
COMPANY PROFILE

この国の、明日をつくる。

地域の基盤である社会インフラをお客様とともに考え
よりよい未来へと導きます。

道路や河川構造物など、国土において最も重要な社会基盤であるインフラ。

その計画から設計、施工管理業務までを行うのが私たちの仕事です。

お客様のベストパートナーとして最新・最善のソリューションを提供し、

社会をよりよい未来へと導きます。

代表挨拶

人々の安全と財産を守り、
地域社会へ貢献することが、私たちの使命です

当社がコンサルティングを行う「社会インフラ」は、地域の産業と安全を支える礎となるものです。川の氾濫、大雨、台風、地震など、さまざまな危険と隣りあわせの中で、私たちは日々生活や仕事を営んでいます。人々の安全と財産をしっかりと守り、地域社会へ貢献することは、当社がコンサルティングをする上での使命だと考えています。そして、その使命を全うするには、優秀な人材が不可欠です。年功序列にとられない充実した教育、生産率の向上・労働分配を念頭に置いた計画的な経営を行うことで、社員だれもが知識・技術・経験を高めながら、幸福な人生を組み立てられる環境をつくり、高度化・多様化する社会の問題とニーズに対応できる体制を整えています。



代表取締役 北野 和孝

経営理念

我社の経営目的を示します。
社会に対して我社の使命を示します。

全社員の生活の安定と向上を求め
人類社会に大きく貢献しつつ
次世代への礎となる

社訓

経営理念を果たす為、
我々はこのように生きます

一流の社会人を目指し
一流の仕事を成し
一流の人生を歩む

行動指針

使命を果たし、
物心両面の幸福を感じて欲しい

「社会人として責任を果たしつつ
面白く生きること」
アツと言う間に人生が終えるような
生き方を目指す

クライアントは官公庁。トータルサポートで国家の基盤を支え続ける。

私たちのクライアントは官公庁。国や自治体などが推進する、道路や河川の管理や整備、都市計画など、国内の土木事業全般及び電子通信事業にわたるコンサルティング業務を行っています。当社の強みは「インフラデザイン部」と「マネジメント推進部」を擁し、対象事業の調査段階から企画設計、技術者の派遣まで、公共事業全体をトータルでサポートできること。豊富な知識と最新の技術で、これからも国家の基盤を支え続けます。

インフラ デザイン部

橋梁計画
道路計画
河川砂防計画
電気通信計画

マネジメント 推進部

土木部門
電気通信部門

登録

(創業) 1990年(平成2年)10月
(建設コンサルタント) 建26号第5325号
(登録部門) 鋼構造及びコンクリート/道路/河川、砂防及び海岸・海洋
土質及び基礎/電気電子/施工計画、施工設備及び積算
都市計画及び地方計画
(測量業) 第(4)-25135号

登録

有資格技術者
技術士(総合技術管理部門)/技術士(建設部門)
技術士(電気電子部門)/RCCM/測量士
コンクリート診断士/1級土木施工管理技士
1級造園施工管理技士/1級建設機械施工管理技士
1級管工事施工管理技士/1級建築施工管理技士
土地区画整理士/1級電気施工管理技士
第1級電気工事士

Infrastructure Design Department

インフラデザイン部

生活に密着したインフラ施設の整備に対して、利便性や安全性に十分配慮したうえでコストも配慮する。当社は、そうした一般の地域住民の方々の視点で企画設計を行っています。



橋梁計画

河川や渓谷、道路・鉄道などを跨ぐ橋梁は、生活道路や災害時の緊急輸送路の役割を担う重要な構造物。近年頻発する大地震に備えて、橋梁の耐震化や長寿命化計画への取組みは至上命題です。橋梁部門では新設橋梁の設計・計画をはじめ、既設橋梁老朽化に伴う老朽化した橋梁の撤去・架替え、耐震補強、補修・補強や橋梁拡幅、各種非破壊検査の実施や橋梁点検など、時代と共に変わるニーズに対応した調査や計画、設計を担います。

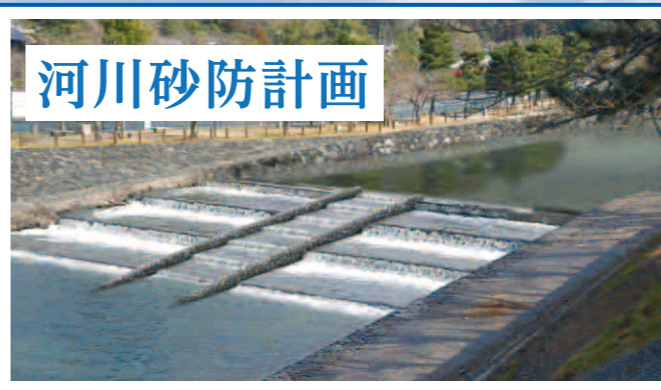
- | 関連カテゴリー | 業務内容 |
|---------------|---------------|
| ● 鋼橋、コンクリート橋 | ● 新設橋梁設計 |
| ● 橋梁の長寿命化計画策定 | ● 橋梁補修設計 |
| ● 既設橋の耐震 | ● 橋梁の長寿命化計画策定 |
| ● 耐荷力診断 | ● 既設橋の耐震補強設計 |
| ● アセットマネジメント | ● 橋梁点検 ● 旧橋撤去 |
| ● 非線形動的応答解析 | ● 改修・補強設計 |
| | ● 施工計画 ● 架設計画 |
| | ● 仮設計構造物設計 |



道路計画

道路は、人の移動や物流に不可欠な生活空間、災害時の防災空間としての役割を担う身近で重要な社会資本。昨今、従来の車中心の計画から、歩行者や自転車の最適な通行空間の確保、持続可能な社会の実現に向けた計画、既存道路の長寿命化対策、ICT化防災・減災対策などの多様なニーズが生まれています。道路計画部門では、新設道路の計画をはじめ、既存ストックの改善策、道路附属物の構造検討などの調査や計画、設計を担います。

- | 関連カテゴリー | 業務内容 |
|--------------|------------------|
| ● 国土強靱化基本計画 | ● 道路(概略・予備・詳細)設計 |
| ● ユニバーサルデザイン | ● 道路防災設計 |
| ● インフラ長寿命化計画 | ● 道路危険箇所対策設計 |
| ● ITS | ● 道路交通センサ等調査分析 |
| ● 交通円滑化対策 | ● 道路構造物点検 |



河川砂防計画

人間が生活していく上で、最も重要な土地や水。その水資源の源となる河川では、近年、相次ぐ台風やゲリラ豪雨により、日本各地に甚大な被害をもたらしています。河川砂防部門では、自然災害から国民の生命・財産・生活を守ることを念頭に、生物・植物などに配慮した多自然型川づくりなどの河川環境整備計画、急傾斜地の崩壊・地すべり・土石流の土砂災害防止対策など、河川及び砂防に関する調査や計画、設計を担います。

- | 関連カテゴリー |
|-------------------------------|
| ● 河川計画 ● ハザードマップ ● 落石シミュレーション |
| ● 斜面安定解析 ● 多自然川づくり |
-
- | 業務内容 |
|-----------------------------|
| ● 築堤護岸設計 ● 多自然護岸設計 ● 樋門設計 |
| ● 急傾斜地崩壊対策設計 ● 法面工(予備・詳細)設計 |
| ● 落石対策工設計 ● 砂防施設設計 ● 砂防基礎調査 |
| ● 防災点検 |



保 全

高度経済成長期以降に整備し、建設から50年以上経過するインフラ施設が加速度的に増加し、それに伴い効率の悪い経済的にインフラ施設の維持管理を行うことが求められています。インフラ施設保全部門では、施設管理者と同じ目線でこれらの課題に取り組み、橋梁定期点検、道路附属物点検、舗装点検、日常巡回を通じ、社会の安全・安心に貢献し、AI技術、ドローン技術、点検ロボット等を駆使し、効率的・先進的な調査・計画を担います。

- | 関連カテゴリー | 業務内容 |
|----------------------|--------------------|
| ● AI技術 ● ドローン・ロボット技術 | ● 橋梁定期点検 ● 道路構造物点検 |
| ● 遠隔臨場 ● 非破壊検査 | ● 空港施設調査 |
| ● 航空測量 ● 画像解析 | ● インフラ施設老朽化対策 |
| ● 三次元点群測量 | ● 物性調査 |



電気通信計画

電気通信は、道路、河川、砂防、公園、上下水道、港湾等施設への電力供給や監視制御等を行う生活に不可欠なインフラストラクチャーであり、時代の変化とともに常に技術革新を続けている分野です。安全な交通の確保、河川氾濫や土砂崩れ、地震等の自然災害対策、鳥害や光害等対策で新技術を活用したシステムの提案を行い、利便性、安全性、経済性を配慮した調査、計画、設計を担います。

- | 関連カテゴリー |
|-----------------------------|
| ● 情報通信ネットワーク ● 気象情報収集提供システム |
| ● 交通情報収集提供システム ● 防災情報HUB |
| ● 災害情報収集システム ● 自然エネルギー有効活用 |
| ● ITSスポットサービス ● 低酸素技術の活用 |
| ● ペーパーレス促進 ● ミラーワールドWeb会議 |
-
- | 業務内容 |
|---------------------------|
| ● 道路・トンネル照明設計 ● 道路情報設備設計 |
| ● CCTV設備設計 ● 受変電設備設計 |
| ● 自家発電設備設計 ● 無停電・直流電源設備設計 |
| ● ナイター照明設備設計 ● 気象観測装置設計 |
| ● 雨量表示盤設備設計 ● 監視制御設備設計 |
| ● 計装設備設計 |

Engineering Department

マネジメント推進部

当社はこれまで、国・地方公共団体を主体とする業務を通じて、経験と技術を蓄積してきました。そのノウハウを活かし、発注者である公的機関へ技術者が出向し事業のサポートを行っています。

行政事務補助業務

発注者が取り扱っている技術資料の整理作成を補助します。予算要求、事業計画立案に関する資料の作成、地元説明、関係機関等への協議に必要な資料、事業評価に関する資料の作成、その他、調査・計画に関する資料の作成等を行います。また、発注する工事の積算資料の作成、積算システムへのデータ入力及び調査設計業務に関する技術審査等の補助を行い、発注者を支援します。



工事監督支援業務

国土交通省や地方自治体が発注する公共工事を円滑にすすめるために、的確な工事の履行確認や施工業者との協議等ができるように支援をします。

具体的な業務内容としては、工事契約の履行に必要な資料作成、工事目的物の寸法や使用する材料の確認、施工業者から提出される資料と現場状況の照合、地元及び関係機関との協議・調整に必要な資料の作成及び職員への報告等を行います。



Sales

営業部

国土交通省や地方自治体が発注する発注者支援業務、調査計画業務における提案、見積、入札、受注業務のサポート、顧客との交渉などを行っています。

営業活動…顧客訪問による公共事業計画のヒアリング、技術提案、見積入札…顧客要求事項の確認、社内履行体制等の確認調整、入札金額の検討、入札書類作成
受注…履行業務が円滑に進むよう、社内調整、顧客との関係構築ヒアリングによる適宜要求事項の確認と満足度調査、変更提案および交渉
受注後…顧客満足度調査、継続的訪問による次の受注機会創出
技術営業…打合せ同行、現地調査サポート、発注者支援業務における現場技術サポート
受注計画…市場調査、顧客・案件・入札情報の収集、事業展開への計画立案



Social Action

社会貢献活動のご紹介

大規模な災害が発生した際、被害を最小限に抑えるためいち早く行動。当社のソリューションをフルに活かして迅速な対策・復旧を行ってきました。

活動事例

- 阪神・淡路大震災 緊急復旧工事实施 (1995年(平成7年)5月25日)
近畿地方建設局長より感謝状拝領
- 平成23年台風12号災害応急対策遂行 (2012年(平成24年)7月25日)
近畿地方建設局長より感謝状拝領



Education System

教育制度

個々の能力を最大限に発揮できるよう基礎から実践的内容まで「美学」として学び成長してゆける環境

当社では、活発な新入社員教育や社員の継続教育に取り組んでいます。新入社員に対しては、ビジネスマナーから始まり、専門分野においては、建設コンサルタントの役割、技術の基本となる「測量座標系」「道路」「河川」の基本的な考え方を教育訓練し、学生時代では教えてもらえない「実学」を身に付けて頂きます。社員の継続教育は、資格取得支援、講習会の参加促進、現場見学会の開催、研究発表会の参加支援などに取り組み、全社員の技術向上を支援しています。



実施内容

- 新入社員教育
- 資格取得支援講習(技術士・技術士補)
- 工事現場見学会の開催
- 技術講習会の参加促進
- 社内講習会の開催
- 社内業務発表会の開催
- 建設コンサルタント協会各種分科会委員の参画
- 建設コンサルタント協会主催「研究発表会」参加支援
- 建設コンサルタント他社との技術交流支援